

2020年度

日本ラクロスアカデミー案内資料

- ・指導者認定講習全般について
- ・各級の要件



JLAcademy

2019年12月

(一社)日本ラクロス協会
日本ラクロスアカデミー(JLAcademy)

1-1. JLA指導者認定制度の改定「日本ラクロスアカデミー」の立上げ 背景 指導者の重要性の高まりと裾野の広がり。

「日本ラクロスアカデミー」の立上げ 背景

ますます大きくなる、指導者の重要性

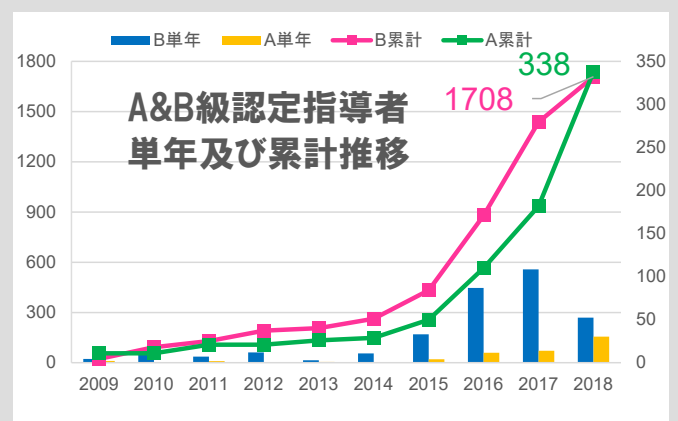
- 学生リーグを始めとする公式戦で、チームが**継続して一定の成果・成績**を収めていくためには、チームの組織としての力が問われる。
- その中で、**指導者が果たす役割**は、ますます大きくなっている。
- JLA事務局としても、以下に挙げる視点から、基本的な姿勢・スキル・知識を身に付けた指導者を育て、増やすことを重視してきた。

【指導者の重要性】

- 練習・試合における選手の安全確保
- 練習・試合における暴力・暴言等の排除
- 競技ルール・大会規約に沿った魅力的な試合
- 長期的な視野に立った選手の育成、チームの強化
- JLA基本理念の浸透・深化

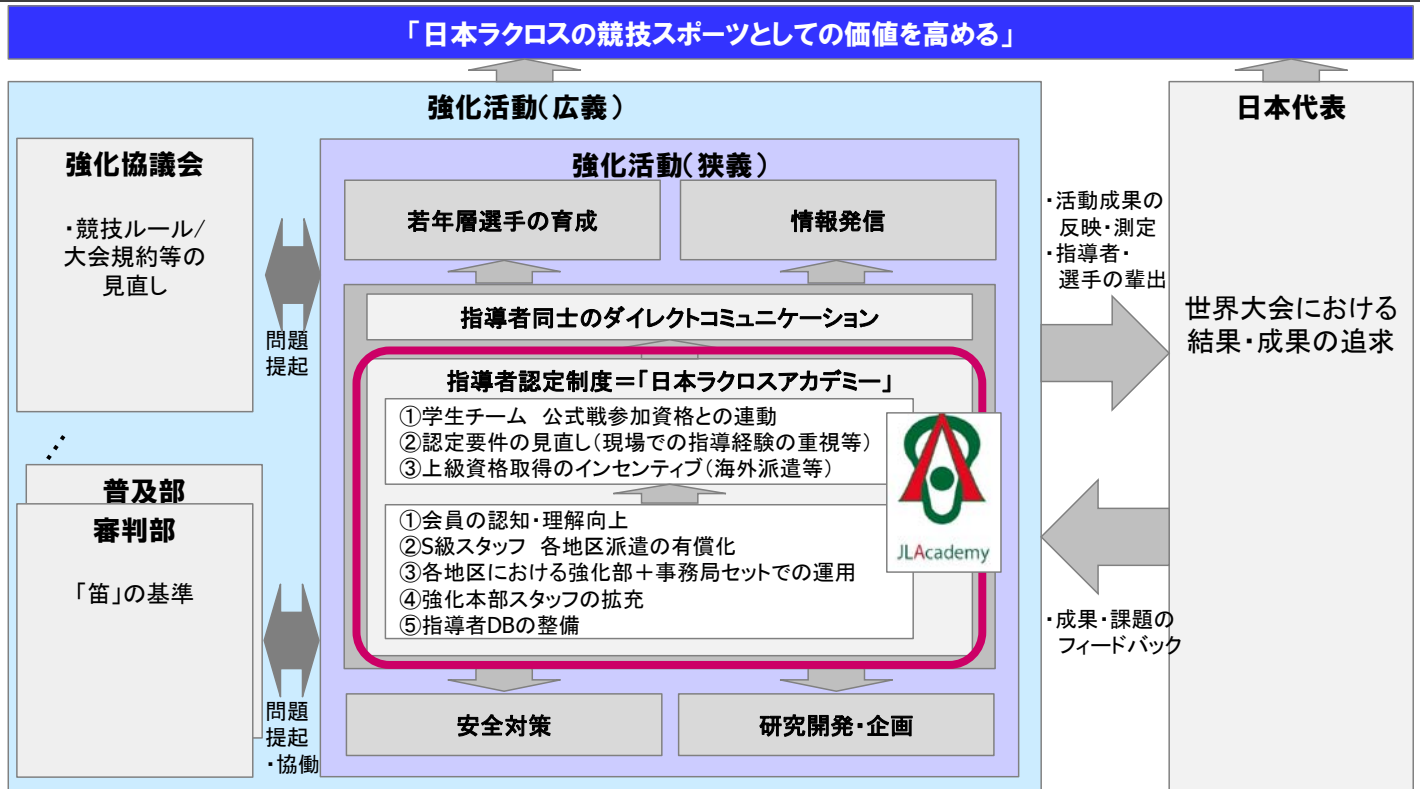
指導者層 裾野の広がり

- JLAでは、こうした指導者を増やしていくために、**2003年**に指導者認定制度を立ち上げ、全国7地区において講義・試験、実技指導・実技試験を行ってきた。
- 2018年末における累積認定者数はA級350名弱、B級1,700人近くと、指導者層の裾野が広がってきている。



1-2. JLA指導者認定制度の改定「日本ラクロスアカデミー」の立上げ 目的・位置付け 「指導者育成」を中核に据え、ラクロスの競技スポーツとしての価値をさらに高めていく。

「指導者育成」を中核に据えた、強化活動の再構築 ～ 「日本ラクロスアカデミー」の立上げ



1-3. 「日本ラクロスアカデミー」 各級に求める要件

「指導者認定」 各級に求められる要件(2019年度版)

- S級指導者** : 日本ラクロス全体の成長への貢献を期待する指導者
- A級指導者** : ラクロス指導者として求められる、幅広い知識、一定レベルの指導スキルを身に付けた指導者
- B級指導者** : 現場に立つ指導者として求められる最低限の指導スキルを身に付けた指導者

ラクロス指導者に求められるKSA	各級の要件		
	S級	A級	B級
1. 姿勢(A)			
1) 指導者としての基本姿勢			
(1) 選手・チームに対する責任感	●	●	●
(2) 自ら成長しようとする姿勢	●	●	●
2) スポーツ指導者としての基本姿勢			
(1) 選手の技術・スキル向上を追求する姿勢	●	●	●
(2) 初心者・若い選手を育てようとする姿勢	●	●	●
(3) チームの勝利を追求する姿勢	●	●	●
3) ラクロスの指導者として持つべき(持っている)姿勢			
(1) ラクロスの楽しさを伝えようとする姿勢	●	●	●
(2) オリジナリティを追求する姿勢	●	●	●
(3) ラクロスの普及・発展を目指す姿勢	●	●	●
2. スキル(S)			
1) 指導者としての基本スキル			
(1) コミュニケーションスキル			
① 選手との基本的な対話	●	●	●
② 選手を楽しませる力	●	●	●
③ 選手に成長への意欲を持たせる力	●	●	●
2) スポーツ指導者としての基本スキル			
(1) 選手のパフォーマンスを見る目(課題の見極め・整理)	●	●	▲
(2) ゲーム・チームのパフォーマンスを見る力	●	●	●
(3) 実指導			
① 共通(笛の使い方など)	●	●	●
② 個人スキル(技術・戦術)	●	●	●
③ グループ戦術	●	●	●
④ チーム戦術	●	●	●
(4) 安全対策(テーピング・応急処置等)	●	●	●
(5) チームマネジメント(ミーティングマネジメント)	●	●	●
3) ラクロス指導者としての基本スキル			
(1) ラクロス固有のスキルを指針等に沿って指導する力	●	●	●
(2) ラクロス特有のスキルを、選手のレベル・状況に合わせて指導する力	●	●	●
(3) 指導者を指導する力	●	●	●

ラクロス指導者に求められるKSA	各級の要件		
	S級	A級	B級
3. 知識(K)			
1) 指導者としての基本知識			
(1) コミュニケーションに関する基本知識	●	●	●
2) スポーツ指導者としての基本知識			
(1) 人・身体に関する知識			
① 安全対策	●	●	●
② コンディショニング	●	●	●
③ ストレングス	●	●	●
④ 身体メカニズム	●	●	●
(2) スポーツ・競技スポーツ一般に関する知識			
① ボールゲームへの理解	●	●	●
3) ラクロス指導者としての知識			
(1) JLA基本理念・活動方針への理解	●	●	▲
(2) ルール	●	●	●
(3) 競技スポーツとしての特性	●	●	▲
(4) スキル・戦術の体系整理	●	●	●
(5) スキル・グループ戦術の個別要素への理解			
① 個人スキル(技術・戦術) フィールドプレイヤー	●	●	●
② 個人スキル(技術・戦術) ゴーリー	●	●	●
③ グループ戦術	●	●	▲
④ チーム戦術	●	●	●
(6) 指導・練習計画の策定(1年間/1週間/1日の組立て)	●	●	▲
(7) 指導・練習の運営(環境準備・オペレーション)	●	●	▲
(8) JLAの課題・ビジョンへの理解	●	●	●
(9) 世界のラクロス	●	●	●

1-4.「日本ラクロスアカデミー」各級の要件(詳細)

指導者認定制度 各級の要件(詳細)

級	認定者に期待すること	認定者のみ可能なこと	受講条件(A&B級)	認定条件	有効期間	有効期間後の維持条件(以下のすべてを満たすこと)	受講料	認定主体
S級	以下の活動を通じて、日本ラクロスの継続的な発展に貢献すること ①日本代表、地区選抜など協会直轄活動への参画 ②A級以下の育成 ③協会直轄活動の主導	①日本代表スタッフへの参画に関する、理事会への自薦。 ②A級、B級認定講習への講師派遣に関する支払報酬の支給。	協会会員登録(区分:コーチ)していること、な らびに、A級を 取得していること	日本代表、地区選抜等の協会直轄活動、あるいは、連盟加盟チームにて、高い成果をあげること(推薦者:強化部本部)	10年間 (取得年の9年後の12月31日まで有効)	日本代表、地区選抜等の協会直轄活動、あるいは、連盟加盟チームにて、高い成果をあげること	-	理事会
A級	ラクロス指導者として身につけるべき姿勢・知識・スキルを習得し、高いレベルで実践できること	①2019年以降、学生チームのリーグ戦登録の要件(A級資格取得者が1名以上いること)への適応 ②日本代表プロジェクト推進委員会(NPC)への日本代表スタッフへの就任の自薦。 ③その他、各種インセンティブ(検討中)	協会会員登録(区分:問わず)していること、 ならびに、B級認定を受けていること (2020年以降)B級認定後、協会登録チームにて1年間以上の指導経験があること	A級認定講習を受講し、認定単位を満たすこと	7年間 (取得年の6年後の12月31日まで有効)	失効年度までに、リフレッシュ講習(予定;2021年~実施)受けること	30,000円	強化部(本部)
B級	ラクロス指導者として身につけるべき基本的な姿勢・知識・スキルを習得すること。	①A級認定講習の受講 ②その他地区連盟ごとに定める内容(新人戦でのベンチ入りなど)	協会会員登録(区分:問わず)していること	B級認定講習を受講し、認定単位を満たすこと	5年間 (取得年の4年後の12月31日まで有効)	失効年度(2009-15認定者は全て2019年)までに、B級講習を再受講、もしくは、A級講習を受講しA級非認定でもB級維持に値する場合	5,000円	強化部(本部) 但し将来的に「各地区」に移管予定